

研究名：東京都三鷹市における不登校等の子どもたちを支える医療教育コーディネーターの役割・影響の評価の記述 ～医療関係者・教育関係者・保護者へのアンケート調査による横断研究と既存資料を用いた後方視的観察研究～（既存資料の活用）

1. 研究の目的

日本では、不登校のこどもは右肩上がりが増加し、2024年に全国で35万人に達しており、社会問題となっています。こども家庭庁では、令和6年度より「地域における不登校のこどもへの切れ目ない支援事業」を開始し、全国からモデル自治体を募り、不登校支援に資する地域の体制を構築するモデル事業を推進しています。

そのモデル自治体の一つである東京都三鷹市でも同様に不登校数は増加しており、2023年には603人と推計されています。三鷹市のあきやまこどもクリニックでは、2023年より日本全国初の取り組みとして医療教育コーディネーターを設置しています。医療教育コーディネーターは、学校長職や教育委員会の経歴を持った方が、教育と医療、家庭の橋渡しを担うことを目指しています。教育現場での知識と経験を活用し、今まで不足していた医療現場での不登校の子どもの環境調整の相談業務・学校訪問などを行っています。

本研究では、国立成育医療研究センターと共同し、一医療機関における、不登校などの子どもに対応する医療教育コーディネーターの役割とその活動の実態、医療関係者・教育関係者・保護者・子どもへの影響を調査・記述することを目的としています。

2. 研究の方法

- 1 研究対象：2024年4月1日～2026年3月31日までに東京都三鷹市にある小児科（あきやまこどもクリニック）が提供する、医療教育コーディネーターを利用した者。該当する期間における利用者の全員。
- 2 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日
- 3 利用又は提供を開始する予定日：2026年1月5日
- 4 研究方法：単施設後ろ向き観察研究

3. 研究に用いる試料・情報の種類

あきやまこどもクリニックの診療情報から医療教育コーディネーターの対応件数・医療教育コーディネーターの相談1件あたりの陪席や相談のかかる時間・医療教育コーディネーターの教育機関などとの調整の回数と主な内容・目的などを抽出します。

4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う児童の個人情報は、氏名およびカルテ番号が含まれます。
- 2) 本研究で取り扱う児童の情報は、氏名やカルテ番号などの個人を特定できる情報をすべて削除したものとし、あきやまこどもクリニックと国立成育医療研究センターで利用します。また、結果は個人が特定されないように配慮した形で、省庁や自治体への報告書、学会報告、論文発表などの形で活用されます。
- 3) 個人情報と、個人情報を削除した検体や情報を結びつける資料は、あきやまこどもクリニック内で厳重に管理され、研究の実施に必要な場合にのみ参照します。

5. 研究実施機関

あきやまこどもクリニック、国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果の解析が終了していたり報告書や論文などが提出・投稿されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あきやま子どもクリニック（責任者：秋山 千枝子 院長）

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 2-2-16

電話：0422-70-5777 E-mail：chieko19581221@gmail.com

○本研究の内容・実施に関する連絡先：

国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部（研究代表者：今井夏子 研究員）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 内線：4273 E-mail：imai-n@ncchd.go.jp